

公立大学法人九州歯科大学

I 全体評価

平成18年度に法人化した公立大学法人九州歯科大学は、理事長のリーダーシップの下、法人化のメリットを活かした取組を積極的に進め、教育研究等の充実及び主体的・自律的な大学運営に努めてきたところである。

九州歯科大学は、平成24年度から第2期中期目標期間（平成24年4月1日から平成30年3月31日まで）に入り、2事業年度目を迎えたところであるが、設立団体である福岡県が定めた中期目標において、歯科保健医療の高度な専門的知識・技術を教授するとともに、患者の痛みを理解し、円滑な意思疎通ができる能力を身に付け、歯科保健医療の分野において活躍する優秀な医療人を育成することを最も重要な使命としている。

平成25年度の評価にあたっては、前年度評価において指摘した事項の改善状況を確認するとともに、これまでの業務実績も踏まえ、第2期中期計画の達成に向け、年度計画を着実に実施しているかという視点から、当該年度の業務実績評価を実施した。

評価の結果、中期目標項目6項目中4項目（研究、社会貢献、業務運営、評価及び情報公開）について「順調に進んでいる」、2項目（教育、財務）について「おおむね順調に進んでいる」と評定した。

また、中期目標に掲げている重点事項については、学生の歯科医療人としての自覚を促し継続するため、初年次から6年次までの全体的なカリキュラム改編に着手するなど着実に取り組んでいる。

以上のことを踏まえ、公立大学法人九州歯科大学の平成25年度の業務実績については、中期目標・中期計画の達成に向けて、全体としてはおおむね順調に進捗していると認められる。

歯科医療の高度化や高齢化社会の進展等、歯科保健医療を取り巻く環境や社会的ニーズが変化する中、公立大学としての役割を踏まえ、教育研究はもとより社会貢献の充実に向けた取組を更に推進されることを期待する。

II 項目別評価（中期目標項目別評価）

1 教育

評価	3：中期目標・中期計画の達成に向けておおむね順調に進んでいる。
----	---------------------------------

教育については、進捗が遅れている項目も認められるが、全体的にはおおむね計画どおりに進捗していることから、総合的に判断し、3と評価する。

評価する点又は課題とする点は、以下に示すとおり。

- (1) 地域の歯科保健医療に貢献する歯科医師及び歯科衛生士の育成
 - ・歯科医療人としての自覚を促し持続するため、初年次から6年次までの全体的なカリキュラム改編に着手した。

- ・歯科医師国家試験対策として、臨床実習技術指導の充実やチューター制度の活用を図っているが、平成25年度の歯科医師国家試験合格率が全国29大学中11位と低下（平成24年度2位）しており、合格率の高水準の回復に向け、原因分析と対策に取り組む必要がある。

(2) 特色ある大学院教育による優れた教員・研究者の育成

- ・口腔保健学専攻修士課程を設置申請し、設置の認可を受けた。
- ・大学間連携共同教育推進事業において、4大学間での単位互換協定を締結した。

(3) 教員の教育力の向上

- ・ワークショップの開催、評価システムの確立などFD（※）の推進に努めている。

※FD（ファカルティ・ディベロップメント）
教員が授業内容・方法を改善し、向上させるための組織的な取組の総称

(4) 適性のある優秀な人材の確保

- ・模擬講義の実施等高大連携に取り組むとともに、高校訪問等の入試広報活動も積極的に実施し、歯学科、口腔保健学科ともに志願倍率が目標を上回っている。

(5) 学生への支援

- ・口腔保健学科の就職活動を支援するため、学生との面談やセミナー開催を行った結果、民間企業や病院への就職等成果があった。

2 研究

評価	4：中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる。
----	-----------------------------

研究については、年度計画を着実に実施し、目標を達成していることから、順調に進捗していると判断し、4と評価する。

評価する点は、以下に示すとおり。

- ・科学研究費補助金の採択率が高くなるとともに、獲得件数も目標を大きく上回っており、外部研究資金を積極的に獲得している。

3 社会貢献

評価	4：中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる。
----	-----------------------------

社会貢献については、年度計画を着実に実施し、目標を達成していることから、順調に進捗していると判断し、4と評価する。

評価する点は、以下に示すとおり。

- ・新たに海外6大学と学術交流協定を締結し、海外の大学との連携を推進していることを高く評価し、今後の活動に大いに期待する。

4 業務運営

評価	4：中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる。
----	-----------------------------

業務運営については、年度計画を着実に実施し、目標を達成していることから、順調に進捗していると判断し、4と評価する。

評価する点は、以下に示すとおり。

- ・事務局機能の強化に向けて、プロパー職員を採用するとともに、外部研修会への職員派遣を行った。
- ・附属病院の診療科の業務改善を行い、待ち時間の短縮を図った。

5 財務

評価	3：中期目標・中期計画の達成に向けておおむね順調に進んでいる。
----	---------------------------------

財務については、年度計画を着実に実施しているものの、目的積立金を取り崩して収支の均衡を図る厳しい財政状況が続いていることから、3と評価する。

評価する点又は課題とする点は、以下に示すとおり。

- ・外部研究資金に加え、教育等に関する外部資金の獲得により、目標を上回る収入実績をあげている。
- ・附属病院について、入院収益が回復しているものの、収支の改善が小幅にとどまっており、目的積立金の取崩しによって収支の均衡を図る厳しい財政状況が続いていることから、引き続き入院収益の増加を図るとともに、経費削減対策等を講じ、早急な改善を図る必要がある。

6 評価及び情報公開

評価	4：中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる。
----	-----------------------------

評価及び情報公開については、年度計画を着実に実施し、目標を達成していることから、順調に進捗していると判断し、4と評価する。

評価する点は、以下に示すとおり。

- ・大学ホームページ等で教育研究情報を適切に公開している。
- ・平成26年の創立100周年を活用した記念事業の実施により、大学情報を広く発信できた。